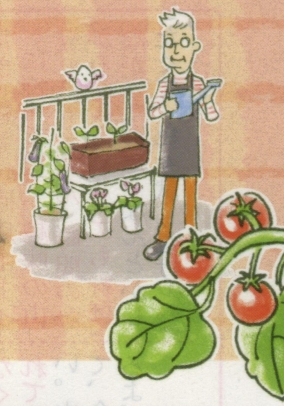


マイブランド
野菜を作ろう!

菜園くらぶ

監修/帖地 近行



用意するもの(1㎡当たり)

■ 種子 ■ 苦土石灰(150g) ■ 元肥(完熟堆肥2kg、化成肥料50g=2握りまたは鶏ふん150g、過リン酸石灰または熔リン20g、硫酸カリ20g) ■ 追肥(1回当たり)化成肥料25g ■ 寒冷紗か不織布または敷きわら

栽培カレンダー



【キク科・シベリア・中国原産】
食物繊維、カリウムが多く含まれています。根の長さが40cmぐらゐと短く生で食べるものから、1mを超えるもの、若い葉と根を食べる「葉ゴボウ」、春と秋に種まきができるものなどいろいろな種類があります。掘りたてはとても香りが良々、おいしいです。



食物繊維がたっぷり ゴボウ

収穫まで
3~6カ月!



栽培手順

① 種まき

種まきの2週間前までに苦土石灰を全面に散布して、数十cmぐらゐに深く、よく耕しておく。1週間後に根が伸びる真下の、できるだけ深いところに元肥を施し周りの土とよく混ぜておく(品種によって深さを変える)。高さ15cmほどの畝を作り、乾燥しないようにわらや枯れ草を被せておく(2列に植えるときは間隔を60cmぐらゐとする)。

1週間後、2~3cm間隔で筋まきし、種が隠れる程度に土を被せ軽く押さえ、発芽するまで日数がかかるので乾燥させないように注意する(敷きわらや寒冷紗、不織布で覆うとよい)。

② 管理

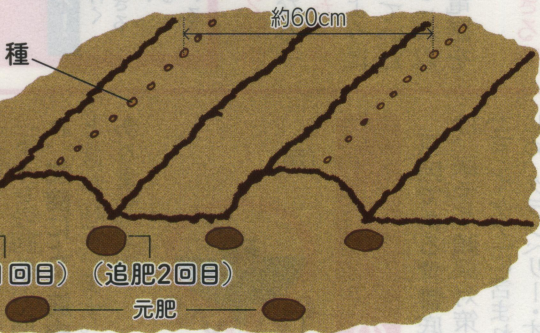
本葉が2枚のところに1回目の間引きをし、重なっているうちの大きなものを残す。本葉4、5枚のところに2回目の間引きをし株間を15cmぐらゐにする。

2回目の間引きの後、除草と中耕をして肥料を畝に沿って筋まきして土寄せする。本葉が8、9枚のところに2回目の追肥をし除草・中耕・土寄せをする。生育の様子を見ながら必要であれば月に一度、追肥をする。

※葉が茂り畝を覆わないうちに除草・中耕・土寄せを行い大きな株に育てる。乾燥には強いが過湿に弱いので、畝を高くしたりして排水に努める。

③ 収穫

霜が降りる前にスコップなどで掘り上げる。



ポイント

- ・連作をしない。
- ・種子は1日水に漬けてからまく。
- ・発芽するまで乾燥させない。
- ・日当たりが良く、排水の良い広い場所を選ぶ。
- ・根がスーッと伸びられるよう深く、よく耕しておく。